

経営改善及び連携・活用に関する取組評価
(令和7(2025)年度)

法人名（団体名）	公益財団法人川崎市スポーツ協会	所管課	市民文化局市民スポーツ室
経営改善及び連携・活用に関する方針			
法人の概要	1 事業概要 (1) スポーツ文化の普及・振興事業 (2) スポーツ指導者の養成・確保に関する事業 (3) スポーツ団体の育成・指導 (4) 競技力の向上に関する事業 (5) 受託したスポーツ振興事業の実施 (6) スポーツ施設等の管理運営 (7) その他目的を達成するために必要な事業 2 設立目的 市民のスポーツ文化の普及・振興・競技スポーツの強化及びスポーツに関する指導者・組織の育成を図ることにより、川崎市のスポーツ振興の核づくりに努め、明るく豊かな市民生活の形成に寄与することを目的とします。 3 法人のミッション 超高齢化社会の到来や人口減少、地域コミュニティの希薄化など市民の暮らしを取り巻く環境も変化しており、スポーツへのニーズや求められる役割が多様化しています。 スポーツを市民一人ひとりの生活に根付いた文化にするとともに、スポーツの力で市民生活の充実を図るため、川崎市との連携を強化し、両輪となって、時代の流れに対応したスポーツ施策の推進を展開します。		
本市施策における法人の役割	川崎市では、少子高齢化、地域コミュニティの希薄化などが進行している中、市民の誰もが、いつでも、どこでもスポーツ・レクリエーション活動に親しむことができる環境を整備し、健康増進やコミュニティの形成を図るため、生涯スポーツの推進に力を入れています。また、競技力の向上を目指し、全国・世界レベルに通用する選手や指導者の育成を図るとともに、ホームタウンスポーツ活動を振興し、スポーツを通して市民に川崎への愛着と誇り、連帯感を育むことを行っています。 川崎市スポーツ協会においては、次の項目を法人の役割とします。 ①子どもから高齢者まで幅広い世代を対象に裾野を広げ、数多くの種目のスポーツ教室を開催して、スポーツ体験機会の拡大を図る。 ②多様化するスポーツの中で市民のニーズを的確に捉え、競技人口の多少にかかわらず専門性を発揮しながら、生涯スポーツ・競技スポーツ・ホームタウンスポーツの振興を図る。 ③スポーツを市民一人ひとりの生活に根付いた文化にすることを目的とし、市民スポーツ文化の普及・振興、指導者や組織の育成、競技力向上に関する事業を実施し、41の加盟団体を統括して、市と加盟団体をつなぐ役割を果たすとともに、市のスポーツ施策の中核を担う。 ④新型コロナウイルス感染拡大等の影響を受けている各種スポーツ大会やイベント等に対して、感染防止対策物品の配布や加盟団体との事前協議を行い、市民に安全・安心して参加してもらうための環境を整備する。		
	法人の取組と関連する市の計画	市総合計画上関連する政策等	政策 政策4-8 スポーツ・文化芸術を振興する 施策4-8-1 スポーツのまちづくりの推進
		関連する市の分野別計画	「川崎市スポーツ推進計画【R4～R13】」
現状と課題	(1) 現状 当協会は川崎市と共に「スポーツのまちづくりの推進」を進めることが重要と考えています。平成18年度から受託していたスポーツ施設の指定管理が平成28年度に全てなくなるといった厳しい状況になり、29年度以降、人員配置の見直しや事業の見直しなど抜本的な改革を行ってきました。令和元年度に41事業あった事業を、廃止5事業、予算を伴わない共催事業への転換5事業と整理し、31事業に縮小するとともに、業務の効率化、支出の削減、指定管理施設の受託など財源の拡充を図りました。令和2年度から、市のスポーツ施策に合致した事業について、市からの補助金が増額され、財政基盤安定化の端緒についたところです。 また、運営組織体制として従来は定期的な経営会議を実施していませんでしたが、令和元年度からは定期的に経営会議（役員会）を実施し、財政状況をはじめ協会のもつ課題について共通理解を図っています。 更に、市と協会の役割分担の見直しを図り、「スポーツ協会取組方針」を作成し、その役割と方向性を確認したところで。 (2) 課題 財政状況について、補助金の増加や新たな指定管理の確保など一定の改善がみられるものの、未だ黒字になっていない状況にあり、今後さらに経営改善の必要があります。 また、かわさきパラムーブメントに見られるような障害者理解を促進し、共生社会の実現についての取組がまだ十分でない部分もあると考えています。 川崎市のスポーツの中核としての役割を果たすため、川崎市や加盟団体、総合型地域スポーツクラブと連携した取り組みを進めてきましたが、連携についてまだ不十分と考えており、更なる取組が求められています。		
取組の方向性	(1) 経営改善項目 1. 財政基盤の安定化を第一に考えるとともに、市と同じ方向性でスポーツ振興を進めることが肝要であると考え、市との定期的なミーティングを月1回開催するとともに、取組方針の職員への徹底を図るため、事務局会議を月1回開催します。 2. 安定的な経営を図るため経営会議（役員会）を四半期ごとに開催し、情報の共有化を図りながら、財政の改善を進めます。 3. 事業評価を行い、41事業あったものを31事業へと整理しましたが、引き続き各事業の執行方法など検討し、効率的な運営を図ります。 4. 令和3年度に新たに指定管理施設の管理を構成企業として3か所獲得し計4か所となりましたが、引き続き等々力緑地や富士見公園の再編整備進捗状況を踏まえ、これら2公園のスポーツ施設管理運営に関わっていきます。 (2) 連携・活用項目 スポーツを「する」、「みる」、「ささえる」 市民がスポーツを身近に感じ、もっと楽しむことができるよう、スポーツを「する」、「みる」、「ささえる」機会を創出し、多くの市民がスポーツに参加するきっかけを作ります。 1. 「する」：マラソン大会をはじめとする市民が気軽に参加できる大規模大会の開催や市民大会、スポーツ教室などを開催し、体験機会の拡充を図るとともに、生涯スポーツの推進や競技力の強化を実施します。 2. 「みる」：国内外のトップクラスの選手が競うトランポリン競技大会を開催するとともに、かわさきスポーツパートナーと連携し、試合日程・結果などを広報誌でお知らせするなどのサポートをします。 3. 「ささえる」：指導者や競技団体の育成などスポーツ指導者の育成・強化に努めるとともに、ボランティアの育成を実施します。 4. かわさきパラムーブメントを進展させるため、年齢や国籍、障害があるなしに関わらず、多様なニーズに応じて、誰もが生涯にわたって日常的にスポーツに親しみ、そして楽しめる機会を充実していきます。 5. 総合型地域スポーツクラブ、区スポーツセンターなどと連携し、地域スポーツを盛り上げます。 6. 競技団体の統括組織として、各競技団体との連携を深め、市民スポーツの振興を図っていきます。 7. 新型コロナウイルス感染症については、当面の間、事業運営に影響を及ぼすことを十分に想定し、加盟団体や事業参加者が安全・安心にスポーツを楽しむ環境づくりに取り組みます。		

本市が法人に求める経営改善及び連携・活用に関する取組

4カ年計画の目標

(1) 施策推進

既存の事業については、社会的な要請や参加者の需要を調査やアンケートなどで把握し、実施方法の見直しなども含め効率的な運営を図りながら、参加料、協賛金や負担金・補助金などを活用し、スポーツを「する」「みる」「ささえる」機会を創出し、多くの市民がスポーツに参加するきっかけを作ります。具体的には、様々なスポーツイベントの実施、ジュニア選手やトップアスリートの支援など競技力の向上事業の実施、年齢や性別、国籍、障害のあるなしに関わらず、多様なニーズに応じて、誰もが生涯にわたって日常的にスポーツに親しみ、そして楽しめる機会を充実していきます。また、各年代に合わせた教室の実施、スポーツ指導者の育成・確保、パラスポーツの理解・普及によりスポーツを通じた共生社会の実現を進めます。さらに、指定管理施設等において、参加者ニーズを把握し、市民満足度の高い事業を実施いたします。

(2) 経営健全化

市と両輪で進めるスポーツ施策推進に合致した事業については市補助金だけでなく、市財政支出以外の自主財源など安定した収入の確保に努め、効率的な運営による支出の削減を進め、経常収支比率を向上させ安定的な黒字経営による正味財産の確保を目指します。

また、経営会議を定期的の実施し経営幹部が常に情報の共有化と同じ方向性で経営が進むようにします。

(3) 業務・組織計画

職員の意識や専門性を向上させるため、スポーツ、救命救急、安全確保、組織運営などに関する研修への参加と必要な資格取得を進め、組織の活性化を図ります。

1. 本市施策推進に向けた事業取組

取組No.	事業名	指標	現状値 (令和3 (2021)年度)	目標値 (令和7 (2025)年度)	実績値 (令和7 (2025)年度)	単位	達成度 (※1)	本市による評価 ・達成状況 (※2) ・費用対効果 (※3)	今後の取組の方向 性 (※4)
①	スポーツ振興事業	市民大会等参加者数	16,930	30,150	30,191	人	a	A	I
		スポーツ教室参加者満足度	96	87	93	%	a		
		パラスポーツ体験教室の参加者数	954	975	1,540	人	a		
		事業別の行政サービスコスト	本市財政支出 (直接事業費)	30,162 (84,181)	36,902 (101,296)	27,247 (102,249)	千円	1)	(1)
②	競技選手強化・指導者育成事業	トップアスリート育成・強化支援関連事業の参加者数	402	650	2,079	人	a	A	I
		指導者育成事業の参加者数(育成数)	508	425	641	人	a		
		事業別の行政サービスコスト	本市財政支出 (直接事業費)	1,811 (1,917)	3,117 (3,279)	3,341 (3,559)	千円	2)	(1)
③	施設管理運営事業	施設事業参加者数	32,500	43,710	41,147	人	b	B	I
		施設事業参加者満足度	95	93	93	%	a		
		事業別の行政サービスコスト	本市財政支出 (直接事業費)	42,903 (57,537)	29,793 (44,799)	29,845 (51,530)	千円	2)	(1)

2. 経営健全化に向けた取組

取組No.	項目名	指標	現状値 (令和3 (2021)年度)	目標値 (令和7 (2025)年度)	実績値 (令和7 (2025)年度)	単位	達成度	本市による評価 ・達成状況	今後の取組の方向 性
①	収益性の確保	正味財産の推移	162,920	166,623	154,653	千円	c	C	II
		経常収支比率の推移	97.8	100	98.8	%	b		
②	自立性の向上	市財政支出額を除く主要な経常収益	57,406	67,324	78,309	千円	a	A	I

3. 業務・組織に関する取組									
取組№	項目名	指標	現状値 (令和3 (2021)年度)	目標値 (令和7 (2025)年度)	実績値 (令和7 (2025)年度)	単位	達成度	本市による 評価 ・達成状況	今後の取組の方向 性
①	適正な業務運営・法人組織体制 の構築	定期的な運営会議等の開催数	24	24	24	回	a	A	I
②	人材育成等の研修計画	年間研修参加者数	25	28	50	人	a	C	II
		資格取得件数	12	14	11	件	c		

(※1)【 a. 目標値以上、b. 現状値以上～目標値未満、c. 目標達成率60%以上～現状値未満、d. 目標達成率60%未満】

(行政サービスコストに対する達成度については、1). 実績値が目標値の100%未満、2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満、3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満、4). 実績値が120%以上)

(※2)【A. 目標を達成した、B. ほぼ目標を達成した、C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった、D. 現状を下回るものが多くあった、E. 現状を大幅に下回った】

(※3)【(1). 十分である、(2). 概ね十分である、(3). やや不十分である、(4). 不十分である】

(※4)【 I. 現状のまま取組を継続、II. 目標の見直し又は取組の改善を行い取組を継続、III. 状況の変化により取組を中止】



法人及び本市による総括

【令和6(2024)年度取組評価における本市の総括コメントに対する法人の受止めと対応】

施策推進に関する取組について、各指標の目標値を概ね達成することができました。かわさき多摩川マラソンは、今年度市制100周年のレガシー大会として熱中症対策の水かぶりコーナーの設置や救護体制の充実、スペシャルゲストのSHISHAMOの当日参加やインフルエンサーの協力を得る等の広報活動に力を注ぎ、大会の認知度向上を目指しました。またよりインクルーシブな大会を目指し車イス部門や参加者獲得に向けた取り組みとしてファミリーランの未就学児部門、ベアランニング部門の継続実施を行い、昨年を上回る参加申し込みを得ることができました。競技選手強化・指導者育成事業はいずれも参加者数の目標値を達成しており、引き続き取り組んでゆくことで各競技団体の活動活性化を支援していきます。

経営健全化については、財政基盤の安定化を第一に考え、安定した財源の確保を検討していくとともに、経費の抑制を図ります。それとともに好評な事業の拡大や料金設定を現状の物価水準に合わせ見直しを検討してまいります。

また、市のスポーツ施策の動向をつかみ情報を共有してゆくために、担当部署との定期的な打ち合わせを継続してゆき、子どもからお年寄りまで、障害の有無に関わらず幅広く市民がスポーツを楽しめるよう、スポーツ振興に努めてまいります。

【令和7(2025)年度を含む4か年の取組評価の結果を踏まえ、本市が今後法人に期待すること、対策の強化を望む部分など】

本市施策推進に向けた事業取組について、競技選手強化・指導者育成事業やバラスポーツ体験教室の参加者が目標を大きく上回り、参加者満足度については、教室参加者にアンケートを実施してニーズに即した教室を開催するなど、多くの指標で目標値を達成することができました。目標値を下回った指標については、事業の周知などの対応が必要です。また、かわさき多摩川マラソンについても、誰もが楽しめるインクルーシブな大会とするために、100周年大会のレガシーを引き継ぎ、参加者数を前回大会から伸ばすなど、市のスポーツ推進に貢献しました。

経営健全化の取組については、民間企業との競争により事業が未受託になるなど、経常収支比率の赤字が続いていることから、既存のスポーツ事業及び施設管理運営の収入の増加を図りつつ、費用削減に努めるとともに、中間支援機能を有する協会の強みを活かした事業の検討を進めることが必要と考えます。

業務組織に関する取組については、毎月一回の市との定例会を継続実施し、事業の進捗状況の共有や課題解決に向けた方策の検討など情報共有を徹底するとともに、組織内部の改革や人材育成、法令遵守、コスト意識を持った業務改善に着実に取り組む必要があるため、引き続き外部の研修に参加など、必要な知識や資格の習得に努めていくことを期待します。

今後はこの4年間の取組を踏まえつつ、経営を取り巻く環境の変化に対応しながら、より法人と市が緊密に連携をとり、多様化する市民や団体のニーズを的確に捉えた事業を実施するなど、スポーツ普及・振興活動の推進に取り組むことが重要であると考えます。

法人名（団体名）	公益財団法人川崎市スポーツ協会	所管課	市民文化局市民スポーツ室
----------	-----------------	-----	--------------

1. 本市施策推進に向けた事業取組①（令和7（2025）年度）

事業名	スポーツ振興事業
計 画（Plan）	
現状	・令和2年度現在の市民大会数は54大会となっています。 ・多種多様な事業を実施する上で、市民のニーズにあったスポーツ教室の開催や参加者の増加ができるようアンケート調査を行いながら事業内容の工夫を行っています。 ・市内の小中学校の児童・生徒を対象に、パラスポーツの体験教室を実施しています。
行動計画	・各加盟団体に市民大会の意義の周知や、各競技の魅力を伝えていくことでスポーツを実施し大会に参加する市民を増やします。 ・スポーツ協会が各加盟団体や市と連携して実施する教室について、市民のニーズを把握するためにアンケート調査を行い、次期開催時の教室に反映します。 ・体験教室の参加者を増やし、パラスポーツの普及・啓発を図ります。
具体的な取組内容	・加盟団体の代表者並びに事務担当者に対し、加盟団体連絡会議や各種通知・連絡等にて市民大会の意義を周知するとともに、多くの市民が広く参加できる大会運営を働きかけます。 ・スポーツ教室参加者満足度について、高評価が得られていることから、引き続きアンケートを通じて参加者ニーズを的確に把握し、満足度の高い教室を開催します。 ・パラスポーツはスポーツ協会の強みを生かせることから、市民、児童・生徒に理解を深める体験会を実施し、普及・啓発に努めます。 ・各加盟団体を対象にした研修会を実施いたします。

実施結果（Do）

本市施策推進に向けた活動実績	【指標1関連】 市民スポーツの推進には市民大会を多くの市民に開かれた大会として開催することが重要であるため、加盟団体にに対して研修会等を通して市民大会の意義を説明するとともに、開催にあたっては協会や加盟団体のHP等を活用し市民大会の内容の周知や参加者の募集などを行い、広く市民が参加することができる大会となりました。 《令和7年度開催状況》 春季市民大会13種目 市制記念大会28種目 秋季市民大会:20種目 【指標2関連】 スポーツ協会が各加盟団体等と連携して実施する教室について、市民ニーズに沿った教室を開催した結果、高い満足度が得られました。 《事業満足度》 スケート教室90% 古市場小教室:82% なぎなた教室:100% スキー&スノーボード教室:95% 【指標3関連】 学校の総合的な学習・福祉の時間として、児童・生徒がパラスポーツ指導者から、競技を始めた経緯等を直接聞くとともに、パラスポーツを体験することにより、競技や障害に対する理解を深めたほか、市民向けのポッチャ体験を開催するなど、パラスポーツの普及・啓発に努めました。 《令和7年度実績》 とどろきアリーナ:宮内中学校 車いすバスケ 257人 ポッチャ 292人 計549人 宮前スポーツセンター:犬蔵中学校 ポッチャ 226人 支援級ポッチャ 144人 計370人 橘中学校:ポッチャ 186人 市内小学校(3箇所)282人 市内各所(4箇所)153人 合計1,540人 【その他】 かわさき多摩川マラソンにおいては、昨年に引き続きベアランニング部門を設置するとともに、車いす部門や未就学児が親子で走ることができるファミリーファンランニング部門など、広く市民が参加できる大会を開催しました。また市制100周年のレガシー大会として、熱中症対策の水かぶりコーナーの設置や救護体制の充実、スペシャルゲストの当日参加やHAGI氏（インフルエンサー）の「俺をぬいてみろ」企画やベースメーカー配置等を実施し、参加者の拡大を行いました。 募集定員 7,520人 申込者数 8,005人 参加者数 7,057人
----------------	---

評 価（Check）

本市施策推進に関する指標			目標・実績	R3年度 (現状値)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	市民大会等参加者数		目標値		21,000	27,000	30,150	30,150	人
	説明	各加盟団体ごとに開催する市民大会の参加者数	実績値	16,930	26,038	31,706	29,345	30,191	
2	スポーツ教室参加者満足度		目標値		84	85	86	87	%
	説明	指定管理施設以外で行うスポーツ教室参加者に対し、アンケートを行い、得られた満足度の割合	実績値	96	92	91	92	93	
3	パラスポーツ体験教室の参加者数		目標値		855	960	965	975	人
	説明	スポーツ協会が独自で実施しているパラスポーツ体験教室の参加者数	実績値	954	750	1,381	1,301	1,540	

指標1 に対する達成度	a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載
指標2 に対する達成度	a	
指標3 に対する達成度	a	

法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

・指標1に関して、61の市民大会を開催し、中止もなく無事開催できました。また、参加者の増加に伴い広く市民が参加することができました。
・指標2に関して、アンケート内容から得られた参加者の声を教室の内容に反映させるなど要望を取り入れたことにより、継続して高水準の評価を得ることができ、目標を達成することができました。
・指標3に関して、継続している橋・犬蔵・宮内中学校でのポッチャ教室の開催や市内小学校や市内施設各所でのポッチャ体験等の実施などにより、目標を大幅に達成することができました。

本市による評価	達成状況	区分	区分選択の理由
		A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	A ・指標1については、大会の中止等もなく、成果指標である参加者数が目標値を上回り、スポーツの振興につなげたため。 ・指標2については、アンケートを行い、得られた満足度が目標値を上回ったため。 ・指標3については、新たに小学校等でバラスポーツ体験教室を実施するなど参加者数が目標値を上回ったため。

行政サービスコスト		目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	事業別の行政サービスコスト	目標値		36,877 (104,251)	36,902 (101,345)	36,902 (101,295)	36,902 (101,296)	千円
	説明 本市財政支出 (直接事業費)	実績値	30,162 (84,181)	39,477 (89,338)	48,380 (113,715)	39,008 (108,066)	27,247 (102,249)	

行政サービスコスト に対する達成度	1)	1). 実績値が目標値の100%未満 2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満 3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満 4). 実績値が目標値の120%以上
----------------------	----	--

法人コメント(行政サービスコストに対する達成度について)

マラソン大会での申込者数が増加し自己収入の確保等により市財政支出の目標値を達成することができました。今後も、事業支出とのバランスを見ながら新たな取組を実施することで、自己収入を増やすよう努めます。

本市による評価	費用対効果 (「達成状況」と「行政サービスコスト」に対する達成度等を踏まえ評価)	区分	区分選択の理由
		(1). 十分である (2). 概ね十分である (3). やや不十分である (4). 不十分である	(1) ・指標1、指標2及び指標3の全てで目標値を上回り、行政サービスコストについても目標値を達成したため。

改善(Action)

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分		方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	I	市民大会の周知を拡充して参加者数を増やすとともに、スポーツ教室はアンケート等により、ニーズを的確に把握しながら満足度の高い教室を実施します。バラスポーツの体験教室については、新たな体験教室を実施し、参加者を増やしながら、引き続きバラスポーツの普及促進に向け取り組みます。また、かわさき多摩川マラソンについては、誰もが参加でき、楽しめる大会となるよう内容の充実を図り、開催します。

法人名（団体名）	公益財団法人川崎市スポーツ協会	所管課	市民文化局市民スポーツ室
----------	-----------------	-----	--------------

本市施策推進に向けた事業取組②(令和7(2025)年度)

事業名	競技選手強化・指導者育成事業
計 画（Plan）	
現状	・将来的に川崎市出身の選手が各種世界大会等で活躍できるようなトップアスリートの人材育成を行います。 ・国体や全国大会に川崎市出身の選手が出場できるような選手強化を行います。 ・川崎市内にスポーツを普及・振興できるよう、選手や指導者の人材育成を行います。
行動計画	・加盟団体が実施するトップアスリート育成・強化支援事業及びスポーツ普及や指導者育成事業に対して、年間を通して支援を行っていきます。
具体的な取組内容	・加盟団体が実施する選手強化・育成等の事業に対して、市の負担金を活用し、助成金による支援を行うとともに、加盟団体連絡会や研修会において、選手強化につながる研修会を実施するなど、競技力の向上を図ります。 ・加盟団体が実施する指導者育成事業に対して、助成金による支援を行うとともに、加盟団体連絡会や研修会において、指導者育成につながる研修会を実施し、市内のスポーツ普及・振興に繋がります。



実施結果（Do）

本市施策推進に向けた活動実績	【指標1関連】 国や県の強化指定選手等の指定を目指すアスリート育成や全国レベルの選手の競技力向上及びチームの強化を目的とする選手強化支援事業を11団体が実施し、2,079人が参加しました。 内訳 アスリート育成:サッカー126人、バレーボール8人 選手強化:クレー射撃83人、体操100人、テニス85人、ソフトテニス529人、ソフトボール42人、卓球42人、サッカー134人、スキー37人、バスケットボール26人、バレーボール810人、バドミントン57人 【指標2関連】 審判を行う上での知識や指導方法、初心者に対する基礎的なルールの説明手法など指導者に必要な講習を開催し、競技団体やスポーツ少年団など7団体が指導者育成事業を実施し、641人が参加しました。 内訳 サッカー75人、剣道38人、野球170人、ゲートボール154人、バスケットボール120人、ボウリング43人、スポーツ少年団41人 【その他】 各加盟団体の指導者等を対象に、今後のスポーツ指導の参考となるよう、アスリートの健康管理をテーマに具体的な事例の説明等を行ったほか競技力の向上を図るため、選手強化支援制度の周知を図る研修会を実施しました。
----------------	--



評 価（Check）

本市施策推進に関する指標			目標・実績	R3年度 (現状値)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	トップアスリート育成・強化支援関連事業の参加者数		目標値		440	570	630	650	人
	説明	トップアスリート育成や選手強化事業の参加者数	実績値	402	507	654	1,287	2,079	
2	指導者育成事業の参加者数(育成数)		目標値		210	415	420	425	人
	説明	指導者育成事業の参加者数	実績値	508	431	555	709	641	

指標1 に対する達成度	a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満
指標2 に対する達成度	a	※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載

法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)		
・指標1に関して、各競技団体が積極的に事業を実施したため、令和6年度と同様の実績を上げることができました。また、平成29年度から令和元年度の平均値(630人)以上も回復し、目標を上回ることができました。 ・指標2に関して、加盟団体連絡会等を通して各競技団体に、指導者育成の実施を働きかけたことで、各競技団体が積極的に事業を実施したため目標値を大幅に上回りました。 ・その他指導者研修会については、指導力向上につながるよう、企業の専門家や大学教授等による専門的な講義なども取り入れ、継続して実施いたします。		

	達成状況	区分	区分選択の理由
		A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	A ・指標1及び指標2について、それぞれ成果指標である参加者数が目標値を上回ったため。

行政サービスコスト			目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	事業別の行政サービスコスト		目標値		3,142 (3,294)	3,117 (3,279)	3,117 (3,279)	3,117 (3,279)	千円
	説明	本市財政支出 (直接事業費)	実績値	1,811 (1,917)	2,693 (2,855)	3,143 (3,329)	3,240 (3,495)	3,341 (3,559)	

行政サービスコスト に対する達成度	2)	1). 実績値が目標値の100%未満 2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満 3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満 4). 実績値が目標値の120%以上
----------------------	----	--

法人コメント(行政サービスコストに対する達成度について)		
経費を抑えつつ事業を実施したものの、アスリート育成・強化支援事業の助成交付団体数が増加するなど、助成金・補助金充当額等が増額したため、行政サービスコストは目標値を達成することができませんでした。今後も目標値を達成するため、経費の縮減に努めるとともに参加者の増加を図るなど効果的な事業実施に努めます。		

	費用対効果 (「達成状況」と「行政サービスコストに対する達成度」等を踏まえ評価)	区分	区分選択の理由
		(1). 十分である (2). 概ね十分である (3). やや不十分である (4). 不十分である	(1) ・行政サービスコストは、アスリート育成・強化支援事業の助成交付団体数の増加により経費が増額したため目標値を達成しなかったものの、指標1及び指標2ともに目標値を上回ったため。

改善(Action)		
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	I. アスリート育成・強化支援事業については、引き続き加盟団体連絡会等における制度の周知や各競技団体への情報の共有を進め、参加者数を継続して増やしていけるよう各競技団体と事業の重要性を共有し、積極的な事業展開を働きかけます。 指導者育成事業について、適切な指導が行える指導者を増やすことは、競技力の向上や普及促進に繋がることから、現在のニーズに合った指導者向け研修会を継続して開催するなど、指導者の育成に取り組みます。

法人名（団体名）	公益財団法人川崎市スポーツ協会	所管課	市民文化局市民スポーツ室
----------	-----------------	-----	--------------

本市施策推進に向けた事業取組③(令和7(2025)年度)

事業名	施設管理運営事業
計 画（Plan）	
現状	・市内施設(とどろきアリーナ、宮前・多摩スポーツセンター、青少年の家)の管理運営を行っています。 ・各施設にてアンケート調査を行いニーズの把握を行います。 ・宮前・多摩スポーツセンター及び青少年の家の指定管理期間は、令和3年4月1日から令和8年3月31日、とどろきアリーナは、令和2年4月1日から令和5年3月31日までとなっており、延長されない場合は目標値の変更が生じることとなります。
行動計画	・利用者のニーズに沿った施設管理運営を行いながら、アンケート結果をもとに、利用満足度を向上させ、事業参加者の増加を図ります。 ・参加者からの要望を聞き取り、ニーズに合った教室の開催を検討します。
具体的な取組内容	・とどろきアリーナで実施していた教室については、指定管理業務が終了したことから、引き続き現施設管理者と調整し、教室の継続を図ります。また、麻生スポーツセンターについては、指定管理者からの依頼により令和7年度から一部教室の受託を実施し参加者の増加を図ります。 ・施設事業参加者満足度について、高評価が得られていることから、引き続きアンケートを通じて参加者ニーズを的確に把握し、満足度の高い教室を開催します。 ・パラスポーツ・高齢者スポーツなどスポーツ協会の強みを生かせる教室の企画提案を施設管理者等に行い連携を図りながら、事業参加者の増加を目指します。 ・参加者のニーズに合わせ、教室の内容を検討しながら、満足度を高めるとともに、参加者の増加を目指します。

実施結果（Do）

本市施策推進に向けた活動実績	【指標1関連】 協会としての強みを生かし、パラスポーツや高齢者スポーツ教室、幼児から大人まであらゆる世代を対象にした教室を実施しました。令和7年度から麻生SCにて健康麻雀教室の実施を行い、利用者数を維持できました。 《令和7年度実績》 とどろきアリーナ 3,963人 宮前スポーツセンター 30,504人 多摩スポーツセンター 1,360人 麻生スポーツセンター 400人 青少年の家 4,920人 【指標2関連】 利用者からのニーズに対して柔軟に対応したことにより、高い満足度が得られました。 《令和7年度実績》 とどろきアリーナ 97% 青少年の家 95% 多摩スポーツセンター 100% 麻生スポーツセンター 94% 【その他】 令和7年度から麻生スポーツセンターにて健康麻雀教室を年間を通して実施することができました。
----------------	--

評 価（Check）

本市施策推進に関する指標		目標・実績	R3年度 (現状値)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	施設事業参加者数	目標値		13,380	38,100	40,900	43,710	人
	説明 管理運営をしている施設でスポーツ協会が実施する事業への参加者数	実績値	32,500	26,004	36,921	39,067	41,147	
2	施設事業参加者満足度	目標値		92	92	93	93	%
	説明 管理運営をしている施設でスポーツ協会が実施する事業への参加者に対し、アンケートを行い、得られた満足度の割合	実績値	95	92	94	96	93	

指標1 に対する達成度	b	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満
指標2 に対する達成度	a	※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載

法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

・指標1に関して、パラスポーツや高齢者、子ども向けの教室等スポーツ協会ならではのノウハウや経験を活かした教室を開催しました。また、近隣の町内会等にチラシを配布するなど広報活動を行ったことにより、目標値達成には至りませんでしたが、令和6年度より参加者数が増加しました。
・指標2に関して、参加者アンケートから得られたニーズに沿った教室の開催などにより、目標値を達成することができました。

本市による評価	達成状況	区分	区分選択の理由
		A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	B ・指標1については、成果指標である参加者数が目標値を下回ったが、現状値を上回ったため。 ・指標2については、成果指標である事業参加者満足度が目標値を達成したため。

行政サービスコスト		目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	事業別の行政サービスコスト	目標値		42,483 (53,700)	30,291 (44,850)	30,042 (44,851)	29,793 (44,799)	千円
	説明 本市財政支出 (直接事業費)	実績値	42,903 (57,537)	42,064 (56,554)	29,698 (46,838)	28,281 (48,888)	29,845 (51,530)	

行政サービスコスト に対する達成度	2)	1). 実績値が目標値の100%未満 2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満 3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満 4). 実績値が目標値の120%以上
----------------------	----	--

法人コメント(行政サービスコストに対する達成度について)

本市財政支出について、効率的な施設運営等及び適切な財政支出に努めましたが、目標値を達成することができませんでした。

本市による評価	費用対効果 (「達成状況」と「行政サービスコスト」に対する達成度等を踏まえ評価)	区分	区分選択の理由
		(1). 十分である (2). 概ね十分である (3). やや不十分である (4). 不十分である	(1) ・行政サービスコストについては、目標値を達成しなかったものの、指標1については現状値以上となり、指標2については目標値を達成したため。

改善(Action)

実施結果(Do) や評価(Check) を踏まえた 今後の取組の 方向性	方向性区分		方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	I	利用者の減少がないようHPの活用と併せて、近隣の施設にもチラシを配布するなど継続的に広報活動を行い、施設事業参加者数の増加に取り組みます。 多摩SCや麻生SCでは健康麻雀教室を定期的に開催し、高齢者スポーツの推進並びに参加者の増加に取り組みます。なお、令和8年度以降、指定管理の受託施設(宮前SC)が減少しましたが、令和8年度からの目標値には反映しています。 パラスポーツや高齢者スポーツは、かわさきパラムーブメントや地域包括ケアの施策に合致するとともに、スポーツ協会の強みを生かせることから、指定管理施設でも継続して実施します。引き続きアンケート等でニーズを把握し、満足を得られる教室の実施に向けて指定管理者間で調整してまいります。

法人名（団体名）	公益財団法人川崎市スポーツ協会	所管課	市民文化局市民スポーツ室
----------	-----------------	-----	--------------

2. 経営健全化に向けた取組①（令和7（2025）年度）

項目名	収益性の確保
計 画（Plan）	
現状	・事業毎の管理を行うことにより、赤字事業の縮小・廃止に随時取り組みながら、経費削減・収入の確保をし、効率の良い事業運営を行う必要があります。 ・財務の安定性の確保を目的に、正味財産の推移を把握しています。
行動計画	・引き続き、黒字となる自主事業等の継続・拡大とともに、赤字事業の縮小・廃止にも取り組みます。また、効率の良い事業運営を行いながら経営基盤を強化し、健全かつ安定的な事業運営に努めます。 ・収益率を改善し、正味財産増減額の推移とともに経営改善の指標としながら事業運営に努めます。
具体的な取組内容	・事業ごとに予算管理・執行中の経費管理を行い、経費削減及び収入の増加が図られるよう随時事業管理を行い、正味財産の増加及び経常収支改善に努めます。 ・マラソン大会の新企画を検討や熱中症対策（水かぶり等）、救護体制の強化などにより、事業の充実を図り参加者数を増やします。 ・一部の事業の参加料金の改定を検討します。

実施結果（Do）

経営健全化に向けた活動実績	【指標1・2関連】 事業ごとに予算・経費管理等を行い、収入増を図りながら予定していた事業はおおよそ実施することができました。かわさき多摩川マラソンについては、昨年に引き続きペーランニング部門等の設置やスペシャルゲストなどの企画に取り組み、申込人数及び参加料収入も増加することができました。一方で、物価高騰や一部未受託の事業があった為、経常収支比率並びに正味財産は目標値に達することができませんでした。令和8年度に向けて、マラソン等の参加料改定について検討を行いました。
---------------	--

評 価（Check）

経営健全化に関する指標			目標・実績	R3年度 (現状値)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	正味財産の推移		目標値		166,173	166,273	166,423	166,623	千円
	説明	出捐者から受け入れた指定正味財産額、本業から得られた過年度経常収支差額の合計額	実績値	162,920	160,725	157,920	157,332	154,653	
2	経常収支比率の推移		目標値		100	100	100	100	%
	説明	事業活動の結果である経常収益と、それに費やした経常費用の割合	実績値	97.8	98.6	98.4	99.7	98.8	
指標1 に対する達成度		c	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載						
指標2 に対する達成度		b							
法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)									
・指標1に関して、かわさき多摩川マラソンの申込数増加などにより収入が増加しましたが、物価高騰や一部未受託の事業等の影響もあり赤字決算となり、正味財産は減少し、目標値を下回りました。 ・指標2に関して、計画通りおおよそ事業を実施しましたが、物価高騰や事業が一部未受託等の影響もあり目標値を上回ることができませんでした。									

本市による評価

達成状況

区分

区分選択の理由

- A. 目標を達成した
 B. ほぼ目標を達成した
 C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった
 D. 現状を下回るものが多くあった
 E. 現状を大幅に下回った

C

収益向上のため、かわさき多摩川マラソン参加者数の増加及び事業参加料の値上げ等に取り組んだが、指標1は目標値を下回り、指標2は現状値を超えたものの目標値を下回ったため。

改 善（Action）

実施結果（Do）や評価（Check）を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	Ⅱ	かわさき多摩川マラソンについて、物価・人件費の上昇等を踏まえ、参加料の改定を行うとともに、経費の縮減、協賛企業の確保など、収益性の向上に向けた取組を行います。また、物価高騰などによる影響を踏まえ、更なる効率的な事業執行に努めます。

法人名（団体名）	公益財団法人川崎市スポーツ協会	所管課	市民文化局市民スポーツ室
----------	-----------------	-----	--------------

経営健全化に向けた取組②(令和7(2025)年度)	
項目名	自立性の向上
計 画（Plan）	
現状	指定管理料を除く管理運営収益及び事業参加料収益等の自主事業を拡充し、市財政支出額を除いた主要な経常収益を確保し自立性の向上を図ります。また、賛助会費や協賛金その他の新たな収入の確保の取組を進めて、市財政支出の依存度を低減し、自立的な事業運営を行う必要があります。
行動計画	市民のニーズを把握しながら、指定管理料を除いた、事業参加料収益の増加や管理運営収益の拡充を行い、市財政支出額を除く主要な経常収益の確保を図ります。また協賛金収入の確保や新規事業への模索を行いながら健全な事業運営に努めます。
具体的な取組内容	・事業参加者数・参加料収入の増加に向けてホームページや広報誌、チラシ等による積極的な広報を行います。 ・新規の寄付・協賛金の確保、新たな事業の検討及び既存事業の拡充、他事業者の参加料との比較を踏まえ参加料収入増の検討を行い、主要な経常収益の増加を図り自主性を高めます。 ・事業ごとに収入の確保及び経費節減を図りながら、随時事業管理を行います。

実施結果（Do）	
経営健全化に向けた活動実績	【指標1関連】 かわさき多摩川マラソンは令和6年度に引き続きペアランニング部門や車いす部門、未就学児部門の参加者枠増を継続し、スペシャルゲスト等の活用などにより、参加者及び参加料収入が増加しました。また、トランポリンジャパンオープン参加料値上げによる増収、青少年の家教室の参加者増、多摩・麻生スポーツセンターでの「健康麻雀」の回数増による参加者増加などにより、事業参加料収入や管理運営収入が増加しました。 企業等への協賛・寄付金の依頼など働きかけを行い、マラソン大会の協賛金は令和6年度に引き続き継続支援をもらうことができました。 【その他】 各事業の経費節減を図りながら、事業管理を行い、収益向上に取り組みました。

評価（Check）									
経営健全化に関する指標			目標・実績	R3年度 （現状値）	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	市財政支出額を除く主要な経常収益		目標値		65,804	66,426	66,875	67,324	千円
	説明	主要な経常収益である管理運営収益及び事業参加料収益から指定管理料を控除した額	実績値		57,406	55,623	70,077	74,885	
指標1 に対する達成度			a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値（個別設定値）以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60％以上～現状値（個別設定値）未満 d. 実績値が目標値の60％未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					
法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)									
かわさき多摩川マラソン申込者数の増加やトランポリンジャパンオープンの参加料の値上げ、多摩・麻生スポーツセンターの事業拡充等により、事業参加料収入と管理運営収入が増加し、目標を達成することができました。									

本市による評価	達成状況	区分		区分選択の理由
		A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	A	

改 善（Action）	
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性の具体的内容
I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	I. かわさき多摩川マラソンの申込者数及び参加料収入等が増加しましたので、引き続き、各種事業の充実による参加者及び収入の増加を図るとともに、新規事業及び経費縮減に向けた取組を進めます。

法人名（団体名）	公益財団法人川崎市スポーツ協会	所管課	市民文化局市民スポーツ室
----------	-----------------	-----	--------------

3. 業務・組織に関する取組①(令和7(2025)年度)

項目名	適正な業務運営・法人組織体制の構築
計 画（Plan）	
現状	公益法人として、組織等の整備を随時進め、適正な公益法人としての活動を行っています。また、コンプライアンスについて、随時役員・職員を集め研修を行っています。
行動計画	今後も定期的に経営会議を開催し、施設運営管理状況の把握と、協会全体の経営計画の策定及び評価を行い改善していきます。また、随時役員・職員等を対象にコンプライアンスについて研修を行い健全な組織構築を行います。
具体的な取組内容	・役員会等を適時開催し、協会全体の事業及び経営状況の現状把握を行い、事業運営の検討・改善に取り組みます。 ・事務局会議(12回)、市民スポーツ室との定例会(12回)を開催し、事業の進捗状況の確認及び情報の共有化により適正な業務運営・事業執行における協力体制を確立します。 ・協会の職員を対象にコンプライアンスやハラスメントについて研修会を実施し、役員・加盟団体の責任者に対して、役員会・加盟団体連絡会等を通じて認識を深め、適正な業務運営に取り組みます。

実施結果（Do）

業務・組織に関する活動実績	【指標1関連】 ・役員会を随時開催し、財務状況や事業進捗などを把握し、令和8年度以降の指定管理の受託施設減に対応するため、収益性の確保に向けた方向性を協会内で協議しました。 ・事務局会議において事務局職員だけでなく会長や青少年の家の事業所の職員も参加し、各担当の事業進捗などを確認、かわさき多摩川マラソンやトランポリンジャンプオープン等の大規模な事業に取り組むにあたっての協力体制などを確認しました。 ・市民スポーツ室との定例会を12回開催し、事業の進捗確認や情報共有を図るとともに、適正な業務運営に向けた協議・検討を行いました。 ・協会職員や各加盟団体役員等に対し、個人情報管理やコンプライアンスやハラスメント等の研修や周知を実施するなど、適正な業務運営に取り組みました。
---------------	---

評価（Check）

業務・組織に関する指標			目標・実績	R3年度 (現状値)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	定期的な運営会議等の開催数		目標値		24	24	24	24	回
	説明	公益財団法人としての組織整備並びに健全な組織の構築に向けた重要な指標 ※R4～7年度の個別設定値: 23(現状値の95%)	実績値	24	24	24	24	24	
指標1 に対する達成度		a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載						
法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)									
事務局会議、市民スポーツ室との定例会をそれぞれ毎月(12回)開催し、目標値を達成しました。今後も引き続き、所管課と情報共有を行いながら、川崎市の目指す市民スポーツの普及・振興に取り組むとともに健全な公益財団法人としての活動に資するよう効果的に会議、研修等を開催していきます。									

本市による評価

達成状況

区分

区分選択の理由

- A. 目標を達成した
B. ほぼ目標を達成した
C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった
D. 現状を下回るものが多くあった
E. 現状を大幅に下回った

A

・成果指標である運営会議等の開催数について目標値を達成しており、さらに、かわさき多摩川マラソンの大会運営に係る会議を随時開催するなど、市との情報共有を密にし、適正な業務運営に取り組んでいるため。

改善（Action）

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	I 当該項目については、4年間の取組を踏まえ、引き続き、施設運営管理状況の把握と、協会全体の経営計画の策定及び評価を行い改善していきます。また、随時役員・職員等を対象にコンプライアンスについて研修を行い、健全な組織構築を行います。

法人名（団体名）	公益財団法人川崎市スポーツ協会	所管課	市民文化局市民スポーツ室
----------	-----------------	-----	--------------

業務・組織に関する取組②（令和7（2025）年度）	
項目名	人材育成等の研修計画
計 画（Plan）	
現状	公益に資する活動をしているか、公益目的事業を行う能力・体制があるかなど、公益法人が満たさなければならない基準が厳格化されており、経理的基礎・技術的能力が必要となっています。労務・経理やその他事業に関連する研修や資格の取得を随時行います。
行動計画	職員の資質向上のため、意識改革と知識の習得・技術の向上を図る研修会等への参加による人材育成を行います。また、労務・経理等の法人にかかわる研修やその他事業に関連する研修・資格の取得を随時行っていきます。
具体的な取組内容	・公益財団法人として適切に運営する知識の向上、スポーツ施策の適切な助言・指導を担う人材の育成、スポーツの専門性及び事務・経理処理知識などの向上等を図るため、研修や研究会に参加するとともに、資格の取得を目指します。

実施結果（Do）	
業務・組織に関する活動実績	【指標1関連】 スポーツや経営に関する知識や技能を高めるため、障害者スポーツ指導員、ボッチャ審判、カスタマーハラスメント、個人情報管理、財務会計システム、新公益法人会計法改正などの研修を積極的に受講しました。（計50人） 【指標2関連】 日本赤十字社が実施する赤十字救急法短期講習を受講し赤十字ベーシックライフサポーター認定の資格を11件取得しました。

評 価（Check）									
業務・組織に関する指標			目標・実績	R3年度 （現状値）	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	年間研修参加者数		目標値		16	17	18	28	人
	説明	資質の向上等を図るための研修会参加者数	実績値	25	19	23	29	50	
2	資格取得件数		目標値		5	5	5	14	件
	説明	資質の向上等を図るための資格取得数	実績値	12	8	14	11	11	
指標1 に対する達成度		a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値（個別設定値）以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値（個別設定値）未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載						
指標2 に対する達成度		c							
法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)									
研修に関しては経営に生かせるよう、新公益法人会計の法改正に伴う研修や個人情報管理などの研修、スポーツの専門性や健康管理を高めるため、熱中症に関わる講習などを受講しました。資格に関してはスポーツ教室の実施にあたり必要な救命法に関する資格の取得に努めました。									

本市による評価	達成状況	区分	区分選択の理由
		A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	C ・指標1については目標値を大きく上回り、指標2については目標値は下回ったものの、新たに小児救急法の講習を受講することで、職員の資質向上につながる一定の成果が得られたため。

改 善（Action）		
実施結果（Do） や評価（Check） を踏まえた 今後の取組の 方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	II 研修に関して各種法令に適應する知識などの習得に努めます。資格に関してはスポーツ教室の実施にあたり既存の救命法の受講とともに小児救急法の受講や各種取得している資格の研修会に継続的に参加し資質向上に努めます。また、事業管理に関する資格の取得にも努めます。

法人(団体名)	公益財団法人川崎市スポーツ協会	所管課	市民文化局市民スポーツ室
---------	-----------------	-----	--------------

●法人情報

(1)財務状況

収支及び財産の状況(単位:千円)		令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度
正味財産増減計算書	(一般正味財産増減の部)					
	経常収益	147,241	153,698	167,416	168,503	164,789
	経常費用(事業費)	136,305	140,883	154,756	151,498	148,256
	経常費用(管理費)	14,178	14,860	15,465	17,593	18,505
	うち減価償却費	864	1,032	1,305	1,408	1,182
	当期経常増減額	△3,241	△2,045	△2,805	△588	△1,972
	経常外収益					
	経常外費用		150			707
	税引前当期一般正味財産増減額	△3,241	△2,195	△2,805	△588	△2,679
	当期一般正味財産増減額	△3,241	△2,195	△2,805	△588	△2,679
	(指定正味財産増減の部)					
	当期指定正味財産増減額					
	正味財産期末残高	162,920	160,725	157,920	157,332	154,653
貸借対照表	総資産	186,357	175,296	170,792	168,859	163,942
	流動資産	25,027	22,209	35,636	34,984	32,852
	固定資産	161,330	153,087	135,156	133,875	131,090
	総負債	23,437	14,571	12,871	11,527	9,289
	流動負債	22,075	11,411	8,917	8,853	7,398
	固定負債	1,362	3,159	3,955	2,674	1,891
	正味財産	162,920	160,725	157,920	157,332	154,653
	指定正味財産	109,850	109,850	109,850	109,850	109,850
	一般正味財産	53,070	50,875	48,070	47,482	44,803

主たる勘定科目の状況(単位:千円)			令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度
	経常収益	管理運営収益＋事業参加料収益	88,539	85,917	99,776	103,166	108,155
	経常費用	委託費(事業費＋管理費)	42,402	42,162	54,103	54,445	51,802
	総資産	特定資産	49,032	39,032	19,325	19,453	18,557
	総負債	有利子負債(借入金＋社債等)	2,149	4,055	5,235	3,955	2,854
本市の財政支出等(単位:千円)			令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度
補助金			15,194	14,322	14,322	16,635	16,635
負担金			12,628	20,924	26,622	28,206	24,427
委託料			21,621	22,196	16,010	8,155	1,018
指定管理料			31,133	30,295	29,699	28,281	29,845
貸付金(年度末残高)							
損失補償・債務保証付債務(年度末残高)							
出捐金(年度末状況)			45,000	45,000	45,000	45,000	45,000
(市出損率)			40.9%	40.9%	40.9%	40.9%	40.9%
財務に関する指標			令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度
流動比率(流動資産／流動負債)			113.4%	194.6%	399.7%	395.2%	444.1%
有利子負債比率(有利子負債／正味財産)			1.3%	2.5%	3.3%	2.5%	1.8%
経常収支比率(経常収益／経常費用)			97.8%	98.6%	98.4%	99.7%	98.8%
正味財産比率(正味財産／総資産)			87.4%	91.7%	92.5%	93.2%	94.3%
経常費用に占める市財政支出割合 ((補助金＋負担金＋委託料＋指定管理料)／経常費用)			53.5%	56.3%	50.9%	48.1%	43.1%
経常収益に占める市財政支出割合 ((補助金＋負担金＋委託料＋指定管理料)／経常収益)			54.7%	57.1%	51.8%	48.2%	43.6%

法人コメント			本市コメント		
現状認識		今後の取組の方向性	本市が今後法人に期待することなど		
計画した事業が一部受託不調となったものの、概ね実施することができました。その為、かわさき多摩川マラソンやトランポリンジャンプオープンへの参加者の増加等により、収入は、164,789千円となりましたが、一部未受託等により令和6年度に比べると減収となりました。一方支出は一部事業の未受託による支出減等もありましたが、166,760千円となり、経常収支並びに経常外収支をあわせると△2,679千円となっており、令和6年度の赤字幅を縮減することができませんでした。		引き続き、収益を確保するために、市の受託事業等の獲得に取り組むとともに、各種教室事業について満足度を高め、参加定員を増やすことで参加者を増加してまいります。また、かわさき多摩川マラソンのPR等を強化し、参加者の増加や参加料の値上げに取り組み、収益の増加に努めます。また各スポーツセンターや市内施設等でのスポーツ関係委託事業への参画に向けて、関係企業・団体などと情報を共有し、新たな事業を受託できるよう準備を行うことで、黒字化への転換を図ってまいります。	本法人は、市内の種別競技団体を統括し、共に本市スポーツ施策を実現する協働のパートナーとして非常に大きな役割を担っており、本法人が市と適切に情報を共有し、多様化する市民ニーズを的確に捉えながら、より一層のスポーツ活動の普及・振興に向けて継続して取り組んでいく必要があります。そのためには、経営の健全化に向けて、引き続きスポーツ事業及び施設管理運営の収益性を高め、自己収入の増加に努めるとともに、事業コストや人件費の削減を図ること、さらに加盟団体などに対する中間支援機能や人材育成を強化することで経営基盤を強化し、より安定した事業実施体制を構築することを期待します。		

(2)役員・職員の状況(令和8年7月1日現在)

	常勤(人)			非常勤(人)		
	合計	(うち市派遣)	(うち市OB)	合計	(うち市在職)	(うち市OB)
役員	1	0	1	11	0	0
職員	4	0	0	5	0	3

【備考】

- 総役員に占める本市職員及び退職職員の割合が3分の1を超過していることについての法人の見解
- ・理由
- ・今後の方向性